

令和7年度 小平市立鈴木小学校 学校評価計画表

学校教育目標						
よく考え やさしく 元気な 鈴木の子 （〇よく考える子・・・基礎・基本の習得とそれを活用する力を身に付け、根拠を明確に自分の考えをもち、判断し、行動できる子ども 〇やさしい子・・・自他の生命を尊重し、自分も友達も大切にできる子ども 〇元気な子・・・自己有用感を高め、心身ともに健康で粘り強くやり抜く子ども）						
目指す学校像(ビジョン)						
【目指す学校像】 笑顔あふれる学校 共に成長する学校 郷土を愛する学校 【目指す児童・生徒像】 様々な人の思いや考えを大切にし、相手の気持ちを考えて行動する思いやりとやる気をもち、粘り強くチャレンジし成就感や達成感でいっぱいにする児童 【目指す教師像】 自己の使命と責任を自覚して学校を開き、教師同士が学び合い、連携協働して職務に励み、子どもと共に成長する教師						
前年度までの学校経営上の成果と課題						
成果:東京都型学校運営委員会を設置し、三つのプロジェクトに分かれて本校の課題解決に向けての取組を検討した。特別支援学級拠点校として全学級での理解授業と学期ごと校内評価を実施し児童理解を深めた。学習者用端末持ち帰りとスキルの基礎を構築した。校内評価で即時解決できることを実行し、会議時間減と紙使用減となった。課題:教員の行事前の在校時間が増えた。						
	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標		成果指標
学力向上	学習規律を身に付け、知識・技能の確実な定着を図る。	朝のモジュールの時間等を活用し、個に応じた指導を徹底し、基礎・基本の定着を図る。	・鈴木タイム、ベージックタイムを実施し、自己の強みや課題を自覚させるとともに、課題の克服に向けて継続的に指導する。 ・家庭学習10分×学年の定着を図る。	4 全学年・学級で実施100%	4 児童アンケートで肯定的回答90%以上	
				3 全学年・学級で実施80%以上100%未満	3 児童アンケートで肯定的回答80%以上	
	主体的・対話的で深い学びの確立をする。	児童が主体的に学びに向き合う授業づくりを推進し、児童に「わかる」「できる」を実感させる。	・あらゆる教科で「鈴木小問題解決ロード」に沿った問題解決型の授業づくりを推進することで、児童の主体的な学びを促し、よく考えて学ぶ学習習慣を定着させる。	2 全学年・学級で実施70%以上80%未満	2 児童アンケートで肯定的回答70%以上	
				1 全学年・学級で実施70%未満	1 児童アンケートで肯定的回答70%未満	
健全育成	「いじり・いじわる・いやがらせ」を絶対に許さないという3原則でいじめをなくし、根絶する。	・「学校いじめ基本方針」を基にいじめを許さない体制づくりといじめ未然防止に取り組む。 ・人との関わりを重点とした道德教育の充実を図る。	・保護者会等でいじめの未然防止に資する啓発を行う。また、いじめに関する授業を年3回全学級で実施するとともに、思いやりや他者への信頼、相互理解の意識を高める学習を実施する。	4 全学年・学級で実施100%	4 保護者・地域アンケートで肯定的回答が80%以上	
				3 全学年・学級で実施80%以上100%未満	3 保護者・地域アンケートで肯定的回答が70%以上	
	・自発的に挨拶ができる児童の育成を図る。 ・人権教育を推進し、自尊感情の向上を図る。	・すべての児童が日常的な挨拶を自発的にできるよう指導を徹底する。 ・自他を尊重する意識を高めるとともに、互いのよさを認め、協力し合う心の醸成を図る。	・「自らすすんで、目を見てあいさつ」を推進する。年間あいさつ運動を学年発案で実施し、挨拶の習慣化を図る。 ・児童発案の「いいねさん」カードでよさを認め合う取組を実施する。	2 全学年・学級で実施70%以上80%未満	2 保護者・地域アンケートで肯定的回答が60%以上	
				1 全学年・学級で実施70%未満	1 保護者・地域アンケートで肯定的回答が60%未満	
体力向上	運動習慣の定着と運動への興味・関心の向上、外遊びの奨励を図る。	多様な運動に親しめるよう、業間体育の充実を図り、外遊びを奨励しながら運動の日常化を図る。	・休み時間の外遊びを推奨する。 ・なわとび旬間やマラソン旬間を通して継続的に体力向上を推進する。 ・体育集会等で児童発案の多様な運動にふれ、運動する良さを味わわせる。	4 全学年・学級で実施100%	4 児童アンケートで 肯定的回答90%以上	
				3 全学年・学級で実施80%以上100%未満	3 児童アンケートで 肯定的回答80%以上	
				2 全学年・学級で実施70%以上80%未満	2 児童アンケートで 肯定的回答70%以上	
				1 全学年・学級で実施70%未満	1 児童アンケートで 肯定的回答70%以上	
自立の促進	自他の生命を守り、よりよく生きるための安全教育の充実を図る。	自他の生命を尊重し、生命を守りながら相互に安全に生きていくために必要な能力を育成する。	・「安全教育プログラム」「SNS東京ノート」や防災ノート等を活用し、毎月1回全学級で安全指導を実施する。 ・学校経営協議会と連携して「防災を考える日」を実施する。	4 全学年・学級で実施100%	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	
				3 全学年・学級で実施80%以上100%未満	3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	
	自他の思いや考えを尊重しながら合意形成を図る力を高める特別活動の充実を図る。	学級活動や異学年交流活動を充実し、集団行動を通じた課題解決力や合意形成能力の向上を図る。	・各学級活動や学級会、たてわり班活動を充実させるとともに、児童発案による互いのよさを認め合う「いいねさん」活動を実践し、自他を尊重する態度を育成する。	2 全学年・学級で実施70%以上80%未満	2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上	
				1 全学年・学級で実施70%未満	1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	
郷土成愛の	地域との触れ合いや地域素材の効果的な活用を進め、関係機関との連携強化を図る。	・学校経営協議会や学校支援ボランティア等の地域人材及び青少対等の地域の組織と連携して諸活動の充実を図る。	・青少対等の地域の組織と連携した活動を積極的に推進する。 ・学校経営協議会等の地域協力者と連携し、地域の諸行事への参画等を通じて郷土愛の醸成を図る。	4 3回以上実施	4 児童アンケートで 肯定的回答90%以上	
				3 2回実施	3 児童アンケートで 肯定的回答80%以上	
				2 1回実施	2 児童アンケートで 肯定的回答70%以上	
				1 実施せず	1 児童アンケートで 肯定的回答70%以上	
教育特色活動	学校経営協議会等と連携し、地域の学習材を活用した教育活動の充実を図る。	・学校経営協議会の取組の充実を図り、防災教育や地域の学習材として「鈴木遺跡」を有効に活用した教育活動の充実を図る。	・学校経営協議会を年間6回実施し、防災教育、安全教育、地域の特色を生かした教育の充実に向けて取組を進める。就中、「鈴木遺跡資料館」の活用に向けて取組を進める。	4 6回以上実施	4 保護者・地域アンケートで肯定的回答が80%以上	
				3 5回実施	3 保護者・地域アンケートで肯定的回答が70%以上	
				2 4回以下実施	2 保護者・地域アンケートで肯定的回答が60%以上	
				1 実施せず	1 保護者・地域アンケートで肯定的回答が60%未満	
業務改善	勤務時間と健康管理を意識した働き方を推進する。	・勤務時間内に効率よく業務を進めるための意識改革を図るとともに、会議の縮減やペーパーレス化を図る。	・学習者用端末やおまかせ校務を活用し会議時間の短縮及び会議の簡略化を図るとともに、各種印刷物の電子化、校務軽減・ペーパーレスにより校務の精選を推進する。	4 教職員の取組評価で、肯定的回答100%	4 教職員の取組評価で、肯定的回答90%以上	
				3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%～100%未満	3 教職員の取組評価で、肯定的回答80%以上	
				2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%～80%未満	2 教職員の取組評価で、肯定的回答70%以上	
				1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	1 教職員の取組評価で、肯定的回答70%未満	